三夕日刊
磐城時報
福島縣石城郡平町紺屋町十四
編輯兼發行人　岡田弘成
印刷　福島縣石城郡平町紺屋町十四
印刷所　加納活版所
福島縣石城郡平町紺屋町十四
發行所　磐城時報社
一部金貳錢　一ヶ月金參拾錢
廣告料一行十四字詰金五拾錢
▲日刊（日曜、祭日）休刊

健康保險法の不備で 各炭礦手を燒く
——働いても休んでも——収入には變りがない——

常磐各炭礦では世界不況のため出炭を制限してゐるので公休日が多く一ヶ月間を通じ作業をする日數は二十日間以内となつてゐるから、日給二圓としても一ヶ月に支給される總計は四十圓である、而して現在實施されてゐる健康保險法によると被保險者が病氣になれば病氣中は日給の六割を縣健康保險課から給付される規定になつてゐるので一ヶ月三十日間にすると日給二圓の者は二十六圓を支給される結局働いても休んでゐても收入は同じといふ結果になるので僅かな病氣でも休む者が非常に多くなつて來たので各炭礦當局で手古摺り善後策に腐心中である。

豫算と決算
委員顏觸れ

平町昭和六年度豫算の委員左の如し

▲豫算委員
佐藤岩次郎、荒川淺次郎、佐々木龍若、根本品藏、齋藤敏實、馬目武之助、石山治三郎、馬目雅治、吉田寅之輔、千葉彥治、青沼鉾太郎、野崎滿藏、關内正一、柳下元吉、綠川喜三郎

▲決算委員
萩原義雄、國府田直良、吉村安次郎、櫻井清、鈴木光吉、吉田五平、井上茂作、花澤兎五六、猪狩庄平、高橋龜松、坂本隆藏、永山富廣、大森勇、荒川恒次郎、武田元之助

本會議は九日午前十一時から開會する事になつた。

▲平町教育會
平町教育會總會は八日午前十時から平第一小學校に開き經費その他の協議をなし午後一時から東洋大學教授高島平三郎氏の兒童心理考品として平小學校に寄贈するにつき講演があるとの。

平町の開業醫師に かくの如き不德漢が居る
貧乏なので醫師に見せずに居た 處三月一日夜急に呼吸困難に陷つたため子供を背にして平町の醫師某々三軒を歩き廻つたけれども何處でも起きて呉れぬのでそのまゝとなり翌朝平町南町某醫師に見せた處ヂフテリアと判明一本の血清注射を行つた。更療に應じなかつた某々醫師の不德漢に正午病勢が思はしくないので徳を痛撃してゐる。

平町研町杉本コトは數日前長女トシ（三ツ）が病氣にかゝつたが貧乏なので醫師に見せずに居たが既に手遅れとなり歸宅すると同時に死亡した、ヂフテリアは早期に注射をせねば一命を失ふものであるから同人の場合もその前夜注射をすれば一命をとり止め得たものを醫師の不注意の如きに至らしめたといふので某々醫師は前夜診察を拒絶したが、時代の要求に鑑み從來の本科普通科の外に農村建設の爲めに所謂科學的農民を養成する事となつたが、修業年限を二ヶ年とし高等小學校卒業者を入學せしめ午前は學科午後は實習を主とする爲め實習地として平町に田地五反一畝、畑地一町一反三畝を設定し校名を磐城佑賢學舍農蠶學校と稱する事となつた。講師左の如し

廣島高師卒三太泊高女校長田仲十郎、東京帝大農業教員養成所卒志賀敏隆、横濱高商卒高野修二、早大卒藤田榮助、學舍長大和田豊吉、三平第二校長小野金太郎、歩兵少尉松本幸一、本縣師範卒千葉財次郎、醫學士清水廣政、東京女子美術學校卒大和田欣江

▲町政批判懇親會
平町會議員柳下元吉、馬目雅治、佐藤岩次郎、永山富廣、櫻井清、鈴木光吉、吉田五平、井上茂作、花澤兎五六、猪狩庄平、高橋龜松、坂本隆藏、永山富廣、大森勇、荒川恒次郎、武田元之助

珍らしい 彈丸發掘
平町字田町野崎滿藏氏並に平町字城ヨシの兩氏は平町字城と言はざるを得ない。さて買ひ求めた上野行切符はどうするかといふに待合室で上京しさうな客を見つけて原價のまゝ讓渡する。上野行の切符は通用期間四日間だから讓渡するのはその日でなくとも差支えはない。平驛ではこの方法を看破したので當局に善後策の指揮を仰いだ。

▲基金募集興行
四倉町本町青年分團に於ては來る三月七日基本金募集の爲豊夜二回に亘りて四倉海盛座に於て興行をなすと。

四倉方部 消防幹部會
四倉警察署管内消防組頭會議は三日四倉署に開催し協議の結果平町磐城共濟病院長醫學博士難波睦氏は二月末日で同病院長を辞し近く平町十五町目に開業する事なつた。

二人乘り自轉車 自動車に轢かる
一名共重傷を負ふ

平町四丁目鈴木自動車部の、江名間乘合自動轉車を西山格之助（三二）が運轉し三日午前八時頃平町新川町地内を進行中平町大工町中井政重（二五）同四丁目木村庄右衛門（二四）の兩名が一臺の自轉車に乘つて來たのに衝突し中井、木村の兩名は全身に負傷し新川町木村病院で手當中。

難波博士 平町に開業
磐城佑賢で 農蠶科設置

平町私立磐城佑賢學舍は大正二年創立以來學舍長大和田豊吉氏の獻身的努力により堅實なる發達を遂げ既に三千余人の卒業生を出すに至つたが、時代の要求により第三小學校道路問題、自動車ボンプ購入、町自治事務の刷新に鑑み從來の本科普通科の外に來四月より農蠶科を設け明るき農村建設の爲めに所謂科學的農民を養成する事となつたが、修業年限を二ヶ年とし高等小學校卒業者を入學せしめ午前は學科午後は實習を主とする爲め實習地として平町に田地五反一畝、畑地一町一反三畝を設定し校名

鐵道輸送賃金 只諺けの妙案
最近平町に大流行 平驛で漸やく看破

最近平町に巧妙な鐵道輸送賃金に決定した、誤間化しの方法が現はれた大流行を極めてゐる—流行し出した處、平町に活動寫眞巡業の小田洋行といふ人がある、毎週一回位寫眞を東京に送りかへすのでその都度輸送賃銀を以て寫眞はチッキといふ事にするから無料で東京まで連ばれるわけである。さうして十錢さへ添へれば東京市一里以内を配達して呉れるから全く妙案と言はざるを得ない。さて買ひ求めた上野行切符はどうするかといふに待合室で上京しさうな客を見つけて原價のまゝ讓渡する。上野行の切符は通用期間四日間だから讓渡するのはその日でなくとも差支えはない。平驛ではこの方法を看破したので當局に善後策の指揮を仰いだ。

鑛業稅移讓
その後の形勢

磐城炭礦界地元の石城郡湯本町外二町十一ヶ村では十餘年來懸案の礦産稅町村移讓が大体半額の賦課率の許に、地方自治体に移讓する礦業稅改正法律案となつて現はれ既に二十八日の委員會を突破し本會議貴族院も通過しさうな空氣を示して來たので非常に活氣付き更に猛烈な文書戰を全國各炭礦地元町村に飛檄して一齊に共同戰線を張り、目的貫徹に勤める事となつたが、氣早な町村では早やくも同町村賦課率の算定をして取らぬ狸皮算用をしてゐる程で、それに依ると全郡内郷、湯本兩町村の如く同稅だけで一般稅の徴收が必要なくなる程である。

尚同地方礦産稅は好況時代には四十萬圓を突破したが昨今では三分の一に陷り新契約は本月下旬調査される筈であるも五年度中の中以上炭礦別にすれば磐城炭礦六四、七二三圓（内郷）入山採炭三五、五八二圓（湯本）古河炭礦一三、四八一圓（好間）小田同四、八九〇圓（同上）大日本炭礦四、二八二圓（勿來）福島炭礦三、七一六圓（赤井）總額十四萬五千七百九十五錢であつて可決されれば明七年度から實施されるである。

▲罰金未納者
石城郡神谷村大字鎌田土木請負業小林長松（四二）は過般賭博で檢擧せられ罰金四十圓を言渡されたが納入せぬので三日平署に呼び出した。

▲取消申込
拜啓昭和六年三月二日夕刊磐城時報第五千百二十七號第一頁に御掲載相成候「健康保險診費問題で石城郡醫師會が憤慨大原一氏糾彈の計劃」と題する記事は事實無根に付き此の全文を掲げ御取削相成度候也

昭和六年三月三日
石城郡醫師會
磐城時報社御中

平町會
豫算論議賑ふ

平町會本會議は二日午前十一時から會議室に開き野崎、馬目雅達を遂げ既に三千余人の卒業生を出すに至つたが、時代の要求により第三小學校道路問題、自動車ボンプ購入、町自治事務の刷新に鑑み從來の本科普通科の外に柴山水道技師退職理由等の諸問題につき議論質問あり伏見町長からそれ〳〵答辯午後十二時三十分休會、午後一時三十分から開會馬目（雅）外數議員から臨時部水道使用料收入增加にかゝる理由その他數項に亘つて質問應答あり各委員附託となつた

磐城佑賢學舍生徒募集

一、本科　高等科卒業程度ノ男女
一、普通科學資　尋常科卒業程度以上ノ男
一、新設農蠶科格　高等科卒業程度ノ男女
一、右各科共ニ入學試驗ハ行ハズ願書受付順ニ入學ヲ許可ス
一、新學期開始　四月六日
一、詳細ハ規則書請求ノ事

昭和六年三月

平町六間門二十番地
磐城佑賢學舍
（電話九三）

婦人子供洋服科新設

本校は時代に鑑み婦人子供洋服科を新設し左記要項により親切に教授いたします。

◎入學資格及び入學期　（年齢十四才以上の女子は經驗の有無を問はず毎月入學を許す）
◎卒業及び月謝　普通科　三ヶ月卒業　月謝三圓／高等科　三ヶ月卒業　月謝三圓／研究科　六ヶ月卒業　月謝二圓
◎在學中の材料　普通科、高等科在學中材料は自辨なれども研究科に入學後の材料は學校より提供致します
◎卒業後の就職　研究料卒業の上は學校より材料一切を供給し技術の程度に依り賃金を支給致します

ミシンを持たぬ方はミシン使用料を頂きます

石城郡平町
平陽女學校

電話◎増◎設◎

今回店舗擴張のため氷部專用として左記電話を增設致しましたから何卒御利用下さい

氷部專用　**電話四六七番**

（鮮魚部は從來の六三三番）
勿來製氷會社一手販賣
◎德用タドン卸販賣
魚清氷卸部
平町二丁目（警察署通り）

生徒募集

產婆。看護婦

▲修業年限　兩科を通じ一ヶ年
▲願書提出　三月卅一日限り
詳細は學校宛申込まれたし

婦人にも職業の必要な時代が參りました。そして婦人にふさわしい職業は產婆看護婦であります。

平町南町（電話平三〇七番）
平產婆看護婦學校
校長　清野きよ

開店披露

御待ち兼ねの**天ぷら**並びに**小料理**やを開きました
仕出しは迅速に大勉強致します
是非お試めしにお出を願ひます
二月九日　四丁目（平局前）
よし傳
電話（呼出）五二八番

外科　內臟外科　整形外科　外科一般
產婦人科　醫學士　**松永憲一**
產科　院長　**木村寅次郎**
婦人科
平町字新川町
木村病院
電話一六四番

內科　小兒科
花柳病科
藤沼醫院（入院應需）
平町紺屋町
電話平局五〇七番

蒲田創立十週年記念超弩級大帝王篇

雜誌（富士）連載……巨匠、牛原虛彥渡歐最後の作品
原作……佐藤紅綠先生。
鈴木傳明、岡田時彥、田中絹代、藤野秀夫、主演
（前篇十卷　後篇十卷）

若き日よ泣くなかれ

「若者よ泣くなかれ」に出演の蒲田スター連より御禮
……たしまき屆が品贈寄な敵素へ樣皆
差を券籤抽くなれ洩へ方たつ成に覽御「よ者若」
……いさ下で出たく早御非是……すまげ上

蒲田俳優寄贈品抽籤提供

皆樣の好たき松竹なき優名の
贈物是非御受け下さいませ

『若者よ泣くなかれ』上映記念
◎寄贈者と寄贈品

鈴木傳明	ゼブラ號自轉車	岡野秀夫	オーバー
岡田時彥	二重トンビ	藤中絹代	鏡臺
筑波雪子	コート	吉川滿子	襦袢
飯田蝶子	長火鉢	渡邊篤	蒲田式チョッキ
波井虎男	中折帽子	新尾海	ヤッシ上下
橫谷十九二	男傘	小林千代子	スカーフ
吉村黎子	日本紙發表	鈴木歌光	蒲田流行手提袋
谷崎龍子	烹毛布着	河內春太郎	蒲田流行草履
山田宗子	供自轉車	武田春郎	供自轉車
鈴木傳明	ゼブラ號自轉車	岡田時彥	二重トンビ
藤野秀夫	オーバー	中絹代	鏡臺
川崎弘子	コート	筑波雪子	長火鉢
吉川滿子	襦袢	飯田蝶子	蒲田式チョッキ
渡邊篤	中折帽子	波井虎男	ヤッシ上下
新尾海	日本紙發表	橫谷十九二	傘
小林千代子	スカーフ	谷久子	蒲田流行手提袋
河村黎子	烹毛布着	谷崎龍子	蒲田流行草履
山內歌子	供自轉車	田宗太郎	供自轉車
武春光	蒲田式男首卷	岡里子	蒲田流行草履

其他數十點、抽籤日—九日
午前十一時ヨリ　午後五時ヨリ　料金普通
平館　電466

三月三日ヨリ六日間
毎日晝夜公開
舊十五日ヨリ廿日迄

澤田清の**怪盜夜叉王**
林長二郎の**鬪の彌太ッペ**

胃腸專門　內科　十二指腸虫病　胃性腸病
梅毒專門　淋病　婦人病　皮膚病
松村醫院
平町南町（電話一〇一）

肺活量計　呼吸入用　酸素吸入器
酸素吸入器兼
關內藥局
電話四〇番